

株主の皆様へ

「ひと・もの・心」を大切に



第95期 中間事業報告書 平成22年4月1日▶▶▶平成22年9月30日



中越パルプ工業株式会社

証券コード：3877

経営理念

私達中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、持続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

三、向上心あふれる働き甲斐のある会社

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくりまします。

Contents

・経営理念	1	・連結財務諸表	7
・トップメッセージ	2	・会社概要	9
・トピックス	4	・株式の概況	10



「中paraしさ」の強化に向けた 取り組みと存在感ある企業へと つなげる戦略を力強く 推進してまいります。

現場と経営の一体化により迅速でより効率的な経営を目指し、本社機能を創業の地、富山県高岡市に移転してすでに1年半が経過いたしました。

この間、景気低迷とIT化の進展による紙需要の減少に加え急速な円高の進行とそれによる輸入圧力の高まりは、企業経営の先行をますます不透明にしておりますが、当社は、アジアを中心としたグローバル競争に打ち勝つべく、グループ丸となって持続可能な存在感のある企業を目指して日々努力を重ねております。

当社が直面する課題

インターネットの普及や活字離れによる書籍用紙・新聞用紙の需要減少は、景気低迷による商業印刷向け

国内紙需要の減退と相俟ってますます深刻化の度合いを深め、当社の安定操業と収益確保に大きな影響を与えております。

特に、現在直面している塗工印刷用紙の需要低迷が、単に景気循環の中の一現象としてではなく、急速なIT化の進展に伴って“伝える”機能としての紙の価値が問い直されているという構造的な側面があることを忘れてはなりません。

「中paraしさ」の取り組み

国内需要が停滞する一方で、市場は一気にグローバル化が進展して熾烈な競争が始まっています。このよ

うな状況の中で当社は、川内工場において重油使用量ゼロや生産ならびにエネルギー効率向上を目指したコスト削減とアジア圏における資源戦略を見据えた基盤固めのため、総額80億円にのぼる「**パルプ生産最大化**」投資を決断・実行するほか、「**竹紙**」や「**里山物語**」といった環境製品の開発、「**かぐやの竹利用応援事業**」による社会貢献事業を立ち上げるなど「中paraしさ」を具現化する取り組みを行ってまいりました。また、経営理念に掲げているように誰からも愛され信頼される企業を目指し、コンプライアンスや品質第一、顧客満足の希求、地域社会との共存共栄といった観点からも「中paraしさ」を軸に取り組んでまいりました。

「中paraしさ」は、独自性の高い商品や事業体制を確立し、競争に打ち勝つ事業戦略を推進することにとどまらず、当社でなければできないこと、当社でなければならぬこと、社会に必要とされる存在であることを目指すものです。

私たちは、これからもより一層、中越パルプ工業グループの力を結集して愛され信頼される企業として努力を積み重ねてまいります。

当上半期における取り組みとその成果

この春、現場と経営の一体化を目指した本社機能の移転1年を機に、従業員全員でその効果と実効性を見つめ直し論議・検証をいたしました。

その結果、本社移転効果をさらに発揮させるため、営業力の強化を目的として営業企画部を新設して既存製品だけでなく「竹紙」や「里山物語」など当社独自製品の拡販、PRを戦略的に展開するほか、工場と本社、操業現場間の距離をなくし効率操業を実現するために工場の組織体制を大幅に再編するとともに工場間の生産品目の移転などを行い、低操業下でも利益の出せる企業体質の実現に邁進してまいりました。

当上半期は、サッカーワールドカップや参議院選挙などの特需はあったものの、塗工紙を中心とした印刷情報用紙の大幅な価格下落や新聞用紙の販売数量の減少により、印刷関係の洋紙製造事業は減収となりましたが、パルプ販売が本格化したことや、紙加工品製造事業における包装用紙関連が好調に推移したことにより、連結売上高は、50,611百万円で前年同期に比べ2.3%の増収となりました。また連結経常利益は、コスト削減対策ならびに緊急追加コスト削減対策を実施したにもかかわらず877百万円で前年同期に比べ5.3%の減益となり十分な効果を発現することが出来ませんでした。さらに当上半期においては特別損失として資産除去債務や投資有価証券評価損を計上したため連結純利益は17百万円となり、前年同期に比べ大幅に減益となりました。



● かぐやの竹利用応援事業 ●

昨年5月、富山県主導で「とやまの竹資源ネットワーク」が設立されたのを機に当社高岡工場では、「かぐやの竹舟号」と命名したトラックによる竹の無料回収を始めました。

さらに本年には、このネットワークに参画するボランティアの皆さんに対する竹林整備活動をより一層支援出来る体制作りを目指して「かぐやの竹利用応援事業」を立ち上げました。

これは富山県に竹を粉砕するチップパー機の寄贈、竹資源の有効利用を行った地域への援助、高岡七夕のような竹を活用した観光イベントの支援などボランティア団体の活動促進、竹資源を利用する活動の振興、美しい竹林の景観維持を目的とした事業です。成長力が旺盛な竹は、放置すると周囲の里山や雑木林に拡大して荒れ放題となります。それが、土砂の流出・崩壊の防止や水源のかん養などといった森林の多面的機能や生物の多様性を低下させることになります。全国的に竹林拡大が問題となっており、竹林整備と竹資源の積極的な有効活用が注目されています。



チップパー機贈呈式



チップパー機贈呈第1号

里山物語

■ CRMペーパー (Cause Related Marketing Paper) 「里山物語」



「里山物語」は証明書付きの国産間伐材を積極活用することを目的とした印刷用紙です。さらにもう

一つの特徴として用紙代金に含まれる寄付金がNPO法人里山保全再生ネットワークを通じて里山再生保全など“生物多様性の確保に資する活動”に取り組む団体に活用されるCRMペーパーとなっております。CRM (Cause Related Marketing) とは製品の売上によって得た利益の一部を、社会に貢献する事業を行っているNPO・NGOなどの組織に寄付する活動を通じて売上の増加を目指すマーケティング手法です。

かつて“人と自然が共生してきた空間”であった多くの里山が荒廃の危機にさらされ、生物の多様性が失われつつあります。こうした問題に関心を持たれるユーザーの皆さんが「里山物語」を採用頂くだけで環境問題や生物多様性保全の支援活動に参加頂けます。

寄付金の運用事例の記念すべき第1号は、日本初の子どもホスピスの開設を目指す「海に見える森」(神奈川県大磯町)



みんなで協力してピザ窯を作りました

に決定し、NPO法人里山保全再生ネットワークを通じてピザ窯1基を贈呈しました。

アジアにおける資源戦略

慢性的なパルプ不足の解消、割高なエネルギーコストの改善、バッチ式蒸解方式を活かした特色ある製品展開を図るため、川内工場では「パルプ生産最大化」のための大規模な設備投資を行いました。

これにより、重油使用量ゼロと二酸化炭素排出量削減へ向けた取り組みとエネルギーコストの大幅削減が実現するだけでなく、富山県が作成した逆さ地図に見られるようにアジア圏を見据えた戦略の展開が可能となりました。

川内工場では5,000トン/月、高岡工場の1,000トン/月を合わせて最大6,000トン/月のパルプを国内だけでなく、今後需要が逼迫と思われる韓国、中国、ベトナムといった地域への輸出を進めています。

また、原料の木材チップの調達先確保も並行して取り組んでおります。



富山県作成逆さ地図 (平6総使第76号)



● 国産の竹100%で紙を作りました ●



当社川内工場における「パ
ルプ生産最大化」の工事完成
による能力向上により、竹
100%の紙を効率よく生産す

ることが可能となりました。

地元鹿児島では、薩摩川内市、印刷工業組合川薩地
区と協定を結び「竹紙」の利用促進に向け取り組みが
はじまったところです。富山県ではカレンダーにも採
用され、また、先の生物多様性条約第10回締約国会議
(COP10)での折り紙プロジェクトへ竹紙を提供、第1
回いきものにぎわい企業活動コンテストでは審査委員
特別賞を受賞するなど徐々にその認知度が上がりつつ
あります。

ほかにも生物多様性をテーマにした取り組みへの参
加をはじめ、竹林整備のボランティア活動などグルー
プをあげて社会貢献と環境整備に積極的に取り組んで
いるところです。



里山保全活動



薩摩川内市と竹利用促進協定締結



アースディ東京2010に協賛

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

1 総資産について
「現金および預金」が492百万円増加した一方、「有形固定資産」が850百万円、「投資有価証券」が994百万円減少したことなどにより、前期比1,408百万円減少しております。

2 負債について
川内工場パルプ生産最大化工事の進捗に伴い「その他の流動負債」が810百万円増加した一方、借入金の返済1,700百万円を進めたことなどにより、前期比701百万円減少しております。

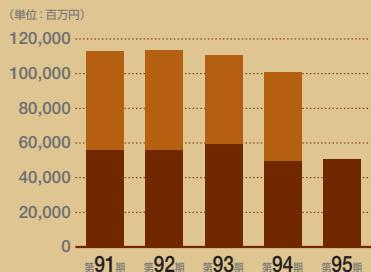
3 純資産について
配当金支払により「利益剰余金」が、株式市場の低迷により「その他有価証券評価差額金」が減少した結果、706百万円減少しております。

科 目	当第2四半期末 平成22年9月30日	前期末 平成22年3月31日
資産の部		
流動資産	42,011	41,714
固定資産	95,736	97,441
有形固定資産	87,694	88,545
無形固定資産	164	134
投資その他の資産	7,877	8,761
1 資産合計	137,748	139,156
負債の部		
流動負債	65,205	65,693
固定負債	23,003	23,215
負債合計	88,208	88,909
3 純資産の部		
株主資本	49,377	49,710
資本金	17,259	17,259
資本剰余金	14,654	14,654
利益剰余金	17,505	17,837
自己株式	△ 42	△ 41
評価・換算差額等	110	485
その他有価証券評価差額金	129	485
繰延ヘッジ損益	△ 18	—
少数株主持分	51	50
純資産合計	49,539	50,246
負債純資産合計	137,748	139,156

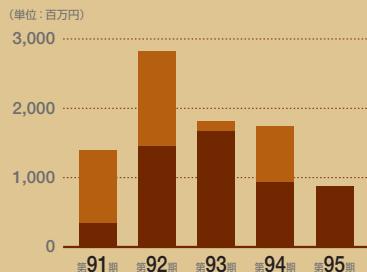
(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結業績ハイライト Consolidated Financial Highlights

● 売上高 通期 中間



● 経常利益 通期 中間



● 純利益 通期 中間



連結損益計算書(要約) 4

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成22年 4月 1日から 平成22年 9月30日まで	平成21年 4月 1日から 平成21年 9月30日まで
売上高	50,611	49,498
売上原価	40,429	39,559
売上総利益	10,182	9,938
販売費及び一般管理費	9,043	8,664
営業利益	1,138	1,273
営業外収益	225	222
営業外費用	487	569
経常利益	877	926
特別利益	72	19
特別損失	735	233
税金等調整前四半期純利益	214	712
法人税、住民税及び事業税	186	116
法人税等調整額	8	188
法人税等合計	195	304
少数株主損益調整前四半期純利益	19	—
少数株主利益	1	0
四半期純利益	17	407

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約) 5

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成22年 4月 1日から 平成22年 9月30日まで	平成21年 4月 1日から 平成21年 9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,908	9,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,328	△ 5,276
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,080	△ 5,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	492	△ 579
現金及び現金同等物の期首残高	1,477	2,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,970	1,983

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

4 連結損益計算書(要約) について

塗工紙を中心とした印刷情報用紙等の販売価格の大幅下落や、新聞用紙の販売数量の大幅減少により、紙パルプ製造事業は減収となりましたが、紙加工品製造事業における包装用紙関連が好調に推移したことにより前年同四半期との対比では増収となりました。収益面では洋紙販売価格下落の影響が大きく、コスト削減対策ならびに緊急追加コスト削減対策の効果でカバーできず、経常利益では若干の減益、純利益では特別損失に資産除去債務、投資有価証券評価損を計上したことにより減益となりました。

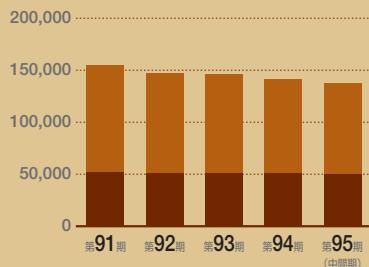
5 キャッシュ・フローについて

当第2四半期累計期間の税金等調整前四半期純利益214百万円と減価償却費5,403百万円などを中心とする営業活動によるキャッシュ・フロー5,908百万円を主に設備の支払などに3,328百万円(投資活動によるキャッシュ・フロー)、借入金の圧縮に2,080百万円(財務活動によるキャッシュ・フロー)それぞれ充当いたしました。

● 総資産/純資産

■ 総資産 ■ 純資産

(単位: 百万円)



● ROE

● ROE

(単位: %)

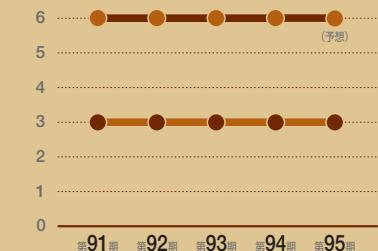
当中間期のROEの計算については、純利益を2倍にして計算しております。



● 配当金の推移

● 通期 ● 中間

(単位: 円)



会社概要 (平成22年9月30日現在)

商号	中越パルプ工業株式会社
本店所在地	東京都中央区銀座二丁目10番6号
創業	昭和22年2月
資本金	17,259百万円
グループ従業員	1,779名
主要な事業内容	◎パルプ・印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・特殊紙・高級板紙および古紙入り再生紙、竹紙等の製造ならびに販売
事業所	東京本社 高岡本社 大阪営業支社 名古屋営業所 福岡営業所 北陸営業所 高岡工場・能町 高岡工場・二塚 川内工場

グループ概要 紙・パルプ及び紙製品製造事業

中越パッケージ株式会社
株式会社文運堂
三善製紙株式会社

その他の事業

中越緑化株式会社
中越物産株式会社
中越ロジスティクス株式会社
鹿児島興産株式会社
中越テクノ株式会社
共友商事株式会社
共同エステート株式会社

その他関係会社

Acacia Afforestation Asia Co., Ltd
New Zealand Plantation Forest Co., Ltd
有限会社南薩緑化センター
九州紙管株式会社
中央紙工株式会社
石川紙工株式会社
エヌシー共同開発株式会社

役員 (平成22年9月30日現在)

取締役 (兼執行役員)・監査役

代表取締役社長	原田正文
常務取締役	村島和夫
常務取締役	桜井義昭
常務取締役	加藤明美
常務取締役	高田悟司
取締役	菅田友宣
取締役	姥島文夫
常任監査役 (常勤)	室谷照男
監査役 (社外)	平戸恭一
監査役 (社外)	野田晃子

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

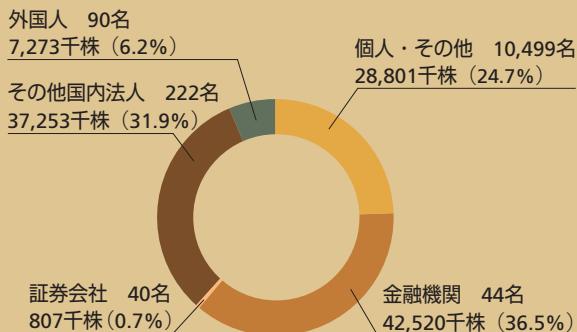
発行可能株式総数	450,000,000株
発行済株式の総数	116,654,883株
株主数	10,895名

大株主の構成

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
王子製紙株式会社	10,539	9.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,112	6.09
日本紙パルプ商事株式会社	7,106	6.09
株式会社北陸銀行	5,735	4.91
新生紙パルプ商事株式会社	5,648	4.84
国際紙パルプ商事株式会社	5,341	4.57
株式会社みずほコーポレート銀行	4,013	3.44
農林中央金庫	4,013	3.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,946	3.38
株式会社損害保険ジャパン	2,511	2.15

(注)千株未満は切り捨てて表示しております。

所有者別

第94期定時株主総会における
議決権行使の集計結果に関するお知らせ

1. 議決権の状況

議決権を有する株主の総数	7,841名
総議決権数	115,944個

2. 議決権行使状況

	株主総会前日 までの議決権行使 (事前行使)	株主総会 当日出席による 議決権行使	議決権行使 合計
株主数	2,465名	148名	2,613名
議決権行使個数	81,366個	11,956個	93,322個
行使率	70.2%	10.3%	80.5%

3. 議決権行使結果

	賛成数	反対数	棄権数	賛成比率
第1号議案 剰余金の処分の件	90,730個	250個	0個	98.32%
第2号議案 取締役7名選任の件				
原田 正文	88,116個	2,904個	0個	95.45%
村島 和夫	89,855個	1,165個	0個	97.33%
桜井 義昭	89,855個	1,165個	0個	97.33%
加藤 明美	89,840個	1,180個	0個	97.32%
高田 悟司	89,840個	1,180個	0個	97.32%
菅田 友宣	89,854個	1,166個	0個	97.33%
姥島 文夫	89,852個	1,168個	0個	97.33%

賛成数は、事前行使における賛成数と当日出席株主から各議案の賛否に関して確認できた賛成数を合計したものです。

株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および
特別口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

株主名簿管理人 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
事務取扱所 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

[郵便物送付先・ご照会先] 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
Tel 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京 市場第一部

ホームページのご案内

当社ホームページに、最新トピックスほか当社のIR情報を随時発信し、ご提供しております。

<http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>



用紙

当社、川内工場で開発した国産竹を原料とした「竹100% 100g/㎡」を使用しております。



表紙

鹿児島県 阿久根市の竹林



中越パルプ工業株式会社

東京本社 東京都中央区銀座2-10-6 Tel 03-3544-1524
高岡本社 富山県高岡市米島282 Tel 0766-26-2401